

# 令和5年度 社会福祉法人八海福祉会事業報告書

(自令和5年4月1日～至令和6年3月31日)

## 1. 事業概況

今年度は、令和3年介護報酬改定の経過措置期間終了となる改定事項について、計画的かつ重点的に取り組みを進めてきました。特に虐待防止措置を含む運営規程の変更、感染症や災害対応力強化を図る業務継続計画の策定、計画的な口腔衛生管理と栄養管理体制の構築など、令和6年度の義務化を前に整備することができました。

新型コロナウイルスは、5類に移行されたものの感染力は依然変わらず、年間を通して発生を繰り返しました。特に3月には利用者・職員あわせて30人に上る大きなクラスターとなり、サービス活動の縮小を余儀なくされました。

感染症の影響と医療依存度の高い利用者の増加を受け、今年度のサービス別年間稼働率は、特養94.9%、ショート74.5%、認知デイ64.0%、居宅契約件数30件となり、厳しい事業展開となりました。一方で、デイサービスは地域の利用ニーズに応えようと20人から24人に定員変更を行い、延べ450人の利用増となりました。

また、脱デフレと円安が続くなか、給食材料や燃油などの物価高騰に歯止めがかからず、収支を圧迫しました。転嫁を見送ってきた食費を約10%引き上げたほか、全員で取り組む節電アクションなど、コスト削減への取り組みを強化し対応しました。

人口減少と高齢化が加速するなか、人材の確保は一層厳しい状況となりました。持続可能な組織運営のため、人づくりを大きな目標として取り組み、介護労働安定センターから職業能力開発の支援を得て、研修を継続してきました。大幅な賃金水準の引き上げが困難ななか、高齢福祉を支える仕事に誇りを持てるよう、意識改革を積極的に進めてきました。また、企業の賃上げには及びませんが、2月に実施された介護職員処遇改善支援補助金は、全額ベースアップに充当し2.5%の賃上げを早期に実施しました。

法人運営を取り巻く環境は一層厳しいものとなりましたが、第9期南魚沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画で策定予定の特養増床に向けての準備など、新たな時代へ向けて踏み出した1年となりました。以下、今年度の主な事業内容を報告いたします。

## 2. 経営する事業

### (1) 第1種社会福祉事業

① 特別養護老人ホームの経営（特別養護老人ホーム雪樺の里）

### (2) 第2種社会福祉事業

① 老人短期入所施設の経営（雪樺の里ショートステイ）

② 老人デイサービス事業の経営（雪樺の里デイサービスセンター）

③ 老人居宅介護等事業の経営（雪樺の里居宅介護支援事業所）

(3) 管理別事業（平成 30 年 6 月指定更新）

種 別	事業所番号	指定年月日	有効期限
介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム雪樺の里（定員 70 名）	1572400909	H30. 6. 1	R 6. 6.30
（介護予防）短期入所生活介護 雪樺の里ショートステイ（定員 20 名）	1572400891	H30. 6. 1	R 6. 6.30
通所介護 雪樺の里デイサービスセンター（定員 20 名）	1572400883	H30. 6. 1	R 6. 6.30
介護予防通所介護相当サービス 雪樺の里デイサービスセンター（定員 20 名）		H30. 4. 1	R 6. 6.30
（介護予防）認知症対応型通所介護 雪樺の里デイサービスセンター（定員 10 名）	1592400178	H30. 6. 1	R 6. 6.30
居宅介護支援 雪樺の里居宅介護支援事業所	1572400925	H30.12. 1	R 6.11.30

※R5.6.1～ 通所定員 24 名

3. 管理別事業の状況

(1) 特別養護老人ホーム

特養は、年間延べ人数 24,310 人、1 日当たり平均利用者数 66.4 人、年間稼働率 94.9% でした。平均介護度は 4.2、平均年齢は 90.3 歳（男性 86.8 歳、女性 91.0 歳）となり、90 歳以上が 61.4% を占め、年齢・介護度ともに高い水準で推移しました。

退所者数は 24 人（男性 5 人、女性 19 人）で、うち施設看取りが 13 人、退所者平均年齢は 93.1 歳、平均在所期間は 29 か月でそのほとんどが老衰の診断を受けています。

入院の状況をみると、年間 52 人、延べ 1,081 日（1 回平均 20.7 日）に上り、前年度と比較するとさらに増加傾向となりました。入所後すぐに体調を崩し入院するケースが見られたほか、骨折事故が 2 件発生するなど、状態把握や医療との連携などに大きな課題を残しました。

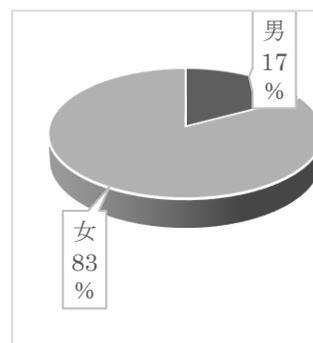
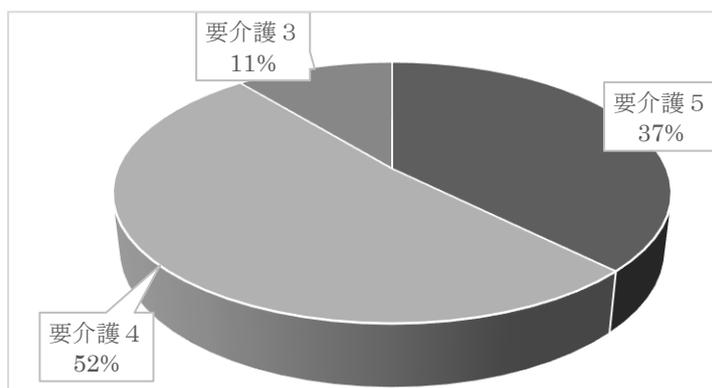
また、5 類に分類された新型コロナウイルスは、年間を通して感染対策と予防に努めてきましたが、3 月に大きなクラスターとなり、運営に大きな影響を及ぼしました。

① 年間稼働状況

年 度	稼働日数	利用延べ人数	平均利用者数	年間稼働率
元 年度	3 6 6 日	2 4, 9 0 8 人	6 8. 0 人	9 7. 2 %
2 年度	3 6 5 日	2 4, 8 2 3 人	6 8. 0 人	9 7. 1 %
3 年度	3 6 5 日	2 4, 8 0 5 人	6 8. 0 人	9 7. 1 %
4 年度	3 6 5 日	2 4, 3 9 7 人	6 6. 8 人	9 5. 5 %
5 年度	3 6 6 日	2 4, 3 1 0 人	6 6. 4 人	9 4. 9 %

② 介護度構成比 (R6.3.31) 平均要介護度 4.2

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	男	女
—	—	10.9%	51.6%	37.5%	17.2%	82.8%



③ 年齢構成 (R6.3.31) 平均年齢 90.3 歳

79 歳以下	80~84 歳	85~89 歳	90~94 歳	95~99 歳	100 歳以上
7 人	8 人	12 人	24 人	15 人	4 人

④ 入退所の状況

入 所 経 路				
在 宅	医療機関	介護老人保健施設	有料老人ホーム等	合 計
15 人	4 人	4 人	1 人	24 人

※ 雪椿の里デイ・ショート利用者の入所 6 人

退 所 経 路				
施設看取り	医療機関死亡	入院後退所	在宅復帰	合 計
16 人	8 人	0 人	0 人	24 人

⑤ 地区別の受入状況 (R6.3.31)

地 区	南 魚 沼 市			魚 沼 市	湯 沢 町	長 岡 市
	大和地区	六日町地区	塩沢地区			
人 数	32 人	22 人	8 人	5 人	2 人	1 人

⑥ 入居者のADL（日常生活動作）状況（R6.3.31）

■食事形態

項目	経管	常食	きざみ	極きざみ	ミキサー	ムース	ゼリー	合計
元年度	1人	15人	17人	16人	9人	11人	0人	69人
2年度	3人	11人	18人	20人	11人	6人	0人	69人
3年度	2人	15人	24人	15人	8人	6人	0人	70人
4年度	2人	9人	21人	20人	12人	6人	0人	70人
5年度	3人	10人	10人	26人	13人	8人	0人	70人

■入浴

項目	一般浴	特浴
元年度	12人(17.4%)	57人(82.6%)
2年度	10人(14.5%)	59人(85.5%)
3年度	8人(11.4%)	62人(88.6%)
4年度	7人(10.0%)	63人(90.0%)
5年度	7人(10.0%)	63人(90.0%)

■移動

項目	自立	歩行器	車椅子	リクライニング
元年度	3人(4.3%)	3人(4.3%)	52人(75.5%)	11人(15.9%)
2年度	2人(2.9%)	3人(4.3%)	48人(69.6%)	16人(23.2%)
3年度	1人(1.4%)	5人(7.1%)	52人(74.4%)	12人(17.1%)
4年度	1人(1.4%)	3人(4.3%)	38人(54.3%)	28人(40.0%)
5年度	1人(1.4%)	4人(5.7%)	35人(50.0%)	30人(42.9%)

■おむつ使用

項目	おむつ	リハパン	なし
元年度	44人(63.8%)	13人(18.8%)	12人(17.4%)
2年度	44人(63.8%)	9人(13.0%)	16人(23.2%)
3年度	39人(55.8%)	12人(17.1%)	19人(27.1%)
4年度	50人(71.4%)	10人(14.3%)	10人(14.3%)
5年度	51人(72.8%)	9人(12.9%)	10人(14.3%)

⑦ 認知症高齢者の日常生活自立度の状況（R6.3.31）

レベル	←軽 I	II a	II b	III a	III b	IV	M 重→
人数	2人	1人	5人	38人	7人	17人	0人

※ 厚労省通知「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」

(2) ショートステイ

ショートの利用を取り巻く環境は今年度も厳しく、定期利用者の多くが入院あるいはミドルステイや小規模多機能型へと移行し、特養入所、死亡による契約終了とあわせて、大きなマイナス要因となりました。また、新型コロナウイルスの影響も大きく、年度末にショートから発生した感染症は施設内クラスターとなり、サービス提供の制限は15日間に及びました。加えて同居ご家族の感染により、利用できないケースが相次ぎました。

こうしたなか、新規契約の拡大に努めるとともに、キャンセル待ちで受け付けて空室の利用調整を行ってきました。利用実人数は増加しましたが、年間稼働率は74.5%、利用延べ人数は5,451人で前年を大きく下回る結果となりました。

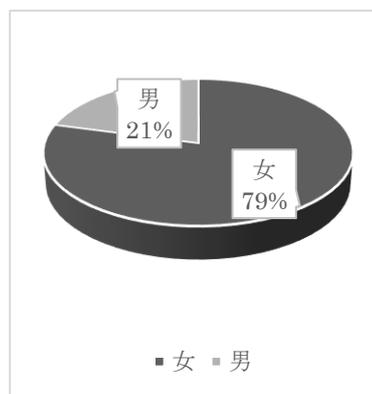
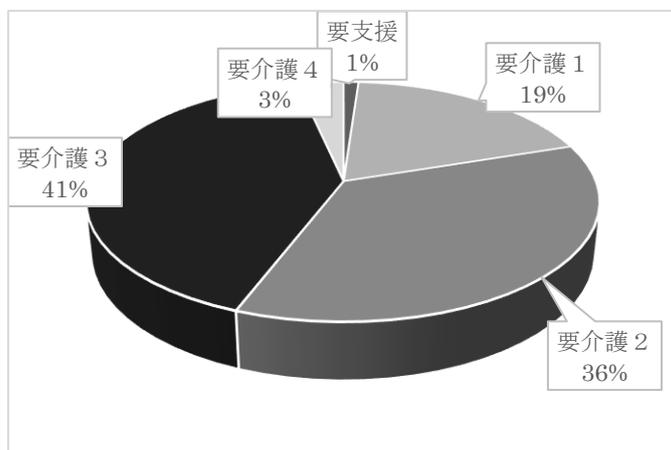
ユニットでは、密を避けての体操やベランダで日光浴を取り入れるなど、換気や消毒とともに感染対策を続けながら、サービスを提供してきました。利用者の安全・安心を第一としてきましたが、転倒による骨折事故の発生があり、再発防止に取り組みました。

① 年間稼働状況

項目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	利用実人数	月平均利用日数
元年度	17.4人	87.2%	6,383人	1,082人	5.9日
2年度	14.4人	72.2%	5,269人	950人	5.5日
3年度	15.6人	78.2%	5,711人	1,016人	5.6日
4年度	15.6人	77.8%	5,679人	973人	5.8日
5年度	14.9人	74.5%	5,451人	1,040人	5.2日

② 介護度構成比 (R6.3.31) 平均要介護度 2.3

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女
—	1.1%	18.8%	35.9%	40.8%	3.4%	—	20.8%	79.2%



### (3) デイサービス

デイサービスは、6月から利用定員を20名から24名に変更しました。これまで、デイの利用枠（曜日）を押さえたまま、老健のミドルステイや定期的なショートステイを利用されることによって恒常的な空きが生じていました。今回の定員変更によって多くの新規受け入れが可能となりました。

年間の新規登録者数は30人で、年度末の実登録者数は65人となっています。利用延べ人数は、前年を大幅に上回る5,450人となりました。また、体調不良などによる年間のキャンセル日数は155日（1日0.5人相当）でした。冬期はデイサービス内で感染症の発生が複数回あり、稼働に影響を与えました。

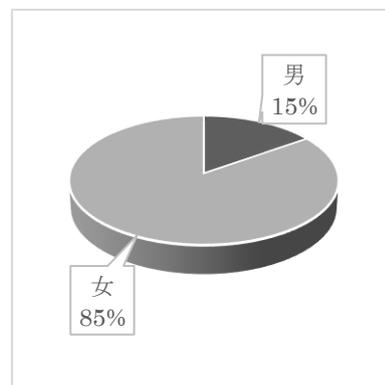
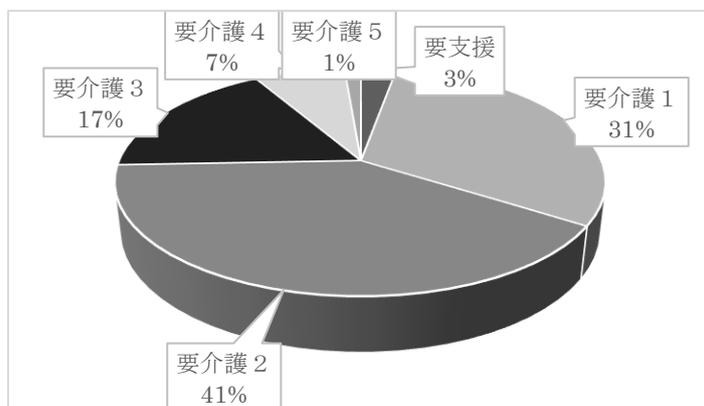
今年度の特徴的な傾向として、障害者福祉から介護保険へと移行した若年利用者の増加が見られました。また、本人と子の二人暮らしや医療依存度の高い方が増加しました。こうした状況の変化にも適切な対応ができるサービス提供に努めてきました。

#### ① 年間稼働状況

項目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	年間延べ登録数	月平均利用日数
元年度	16.9人	84.7%	5,252人	639人	8.2日
2年度	16.2人	81.0%	5,027人	666人	7.5日
3年度	16.8人	84.0%	5,227人	712人	7.3日
4年度	16.1人	80.4%	5,001人	643人	7.8日
5年度	17.5人	—	5,450人	744人	7.3日

#### ② 介護度構成比（R6.3.31） 平均要介護度 2.0

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女
—	2.8%	31.2%	40.4%	17.2%	7.1%	1.3%	15.2%	84.8%



(4) 認知症対応型デイサービス（地域密着型）

認知デイは、感染症の影響は少なかったものの、長期入院や施設入所される方が多く、前年と同じ 64.0%の稼働率となりました。一般デイから移行する利用者もありましたが、新規利用者の確保が伸び悩み、実登録者数 18～20 人で推移してきました。

認知デイを広く知っていただくため、圏域の医療福祉従事者を結ぶネットワークに空き情報を流し、活動内容を各居宅介護支援事業所や家族にお知らせするなどしてきました。その結果、年度末には 5 件の新規登録を得ることができました。

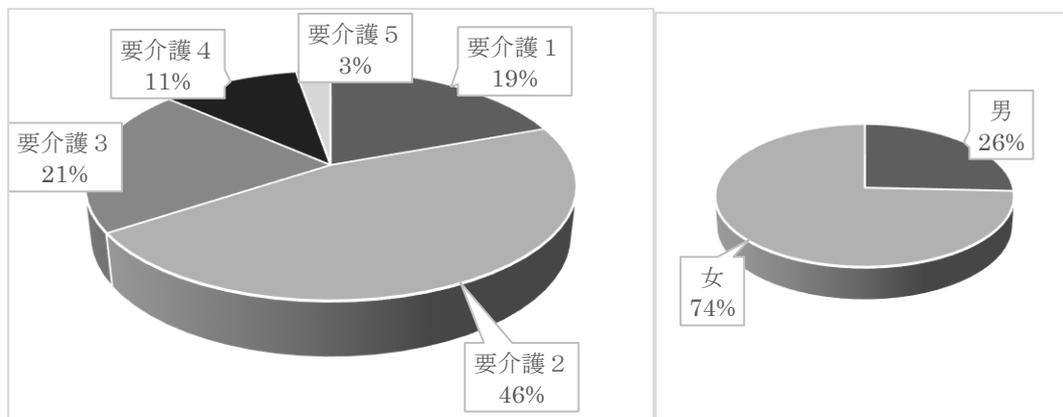
利用者の状態は、軽度（要支援・要介護 1）または重度（要介護 4・5）の方が減少し、中度（要介護 2・3）の方が増加しました。体の動きに大きな問題はなくても認知症による周辺症状のため、食事・入浴・排泄など日常生活全般に介助を要する方が増えました。小規模の優位性を活かし寄り添う介護を第一に心がけ、職員のスキルアップを図りながらサービスを提供してきました。

① 年間稼働状況

項目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	年間延べ登録数	月平均利用日数
元年度	7.1人	71.4%	2,212人	230人	9.6日
2年度	7.6人	75.5%	2,341人	246人	9.5日
3年度	7.1人	71.1%	2,212人	221人	10.0日
4年度	6.4人	63.8%	1,985人	232人	8.6日
5年度	6.4人	64.0%	1,989人	244人	8.2日

② 介護度構成比 (R6.3.31) 平均要介護度 2.3

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女
—	—	19.4%	46.3%	20.8%	10.8%	2.7%	25.7%	74.2%



#### (5) 居宅介護支援

今年度、新規の契約者は11名、契約終了者は施設入所3名、死亡8名の計11名で同数となりました。

公正中立な立場で介護サービス利用の説明を心がけ、ご本人・ご家族から介護サービスを選択していただきました。しかし、訪問看護・訪問介護については、人材不足により希望のサービスを提供できず、代替として通所介護で対応してきました。

また、メディカルソーシャルネットワークに加入し、医療機関との連携をはじめ、関係機関とよりよい情報交換ができました。

#### ① 年間契約利用状況

項目	要介護利用者	雪椿の里 DS 利用者	雪椿の里 SS 利用者	要支援利用者	雪椿の里 DS 利用者	雪椿の里 SS 利用者
元年度	26名	(13名)	(11名)	1名	(0名)	(0名)
2年度	29名	(12名)	(12名)	1名	(0名)	(0名)
3年度	29名	(11名)	(12名)	1名	(0名)	(0名)
4年度	28名	(11名)	(11名)	1名	(0名)	(0名)
5年度	29名	(13名)	(11名)	1名	(0名)	(0名)

※ ( ) 利用契約者のうち当施設サービス利用者

#### 4. 評議員会・理事会の開催状況

令和5年度の評議員会・理事会は、次のとおり開催されました。

##### (1) 評議員会

##### ①第1回評議員会 令和5年6月23日(金)

##### 【付議事項】

- 第1号議案 令和4年度事業報告書の承認について
- 第2号議案 令和4年度(第12期)決算報告書の承認について
- 第3号議案 理事及び監事の選任について
- 第4号議案 定款の変更について
- 第5号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程の変更について
- その他の件 ・通所介護の定員変更について ・食費の変更について

##### ②第2回評議員会 令和6年3月28日(木)

##### 【付議事項】(書面議決)

- 第1号議案 令和5年度資金収支補正予算書について
- 第2号議案 令和6年度事業計画ならびに令和6年度資金収支予算書について

(2) 理事会

①第1回理事会 令和5年6月16日(金)

【付議事項】

第1号議案 令和4年度事業報告書の承認について

(報告第1号) 令和4年度科目間流用及び予備費の充当について

第2号議案 令和4年度(第12期)決算報告書の承認について

(監査報告書) 監査報告について

第3号議案 定款の変更について

第4号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程の変更について

第5号議案 理事及び監事候補者の推薦について

第6号議案 評議員会の招集について

その他の件 ・通所介護の定員変更について ・食費の変更について

②第2回理事会 令和5年6月23日(金)

【付議事項】

第1号議案 理事長・業務執行理事の選定について

③第3回理事会 令和5年11月30日(金)

【付議事項】

第1号議案 令和5年度上半期事業実績について

④第4回理事会 令和6年3月21日(木)

【付議事項】(書面議決)

第1号議案 令和5年度資金収支補正予算書について

第2号議案 令和6年度事業計画ならびに令和6年度資金収支予算書について

第3号議案 評議員会の招集について

5. 役員等の状況 (令和6年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
評議員	大平敏夫	非常勤	
〃	峠英男	〃	
〃	遠山巖	〃	
〃	佐藤哲哉	〃	
〃	山口恒一	〃	
〃	高橋正紀	〃	
〃	田邊浩	〃	
〃	高橋岳久	〃	

評議員8名

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
理事長	若井 博	常勤	
業務執行理事	山口 隆志	〃	
理事	種村 哲夫	非常勤	
〃	鈴木 實	〃	
〃	清塚 登	〃	
〃	井口 裕幸	常勤	施設長（職員兼務理事）
監事	小幡 義夫	非常勤	
〃	藤ノ木 靖子	〃	
〃	金子 剛	〃	

理事 6 名・監事 3 名

## 6. 職員配置の状況

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	計	備 考
管 理 者	1		1	
(医 師)		(3)	(3)	嘱託医師・歯科医師
生活相談員	4		4	社会福祉士・主事
看護職員	3	8	11	
栄 養 士	1		1	管理栄養士
機能訓練指導員	1		1	作業療法士
介護職員	47	4	51	内介護福祉士 47
介護支援専門員	1		1	施設ケアマネ
居宅介護支援専門員	1		1	居宅主任ケアマネ
入浴介助・介護補助員	2	14	16	
運転・施設管理職員	3	2	5	
清掃管理職員	3	3	6	
給食職員	6	4	10	栄養士 1 調理師 5
宿 直 員		3	3	
事 務 員	4		4	
合 計	77	38	115	( )除く

## 7. 主な処理事項

年月日	処理事項	備考
R5. 4. 3	令和5年度辞令交付	
5. 8	新型コロナウイルス感染症5類移行	
5.15	大崎地域づくり協議会花苗配布	
5.16	春季防災訓練（消火訓練・通報訓練・避難訓練）	
5.19	入所検討委員会	
6. 7	介護技術基礎研修開始（全介護職員対象）	全4回
6. 7~8	魚沼サンテックスクール講師派遣	初任者研修
6.12	新型コロナワクチン接種6回目開始	6/29まで
6.12~15	北里大学保健看護科1年生生活者理解実習	30名
6.15	決算監査・監事会	
6.16	理事会	
6.18	介護福祉士実務者研修スクーリング会場	9月まで全7回
6.22	福祉車両安全講習会	運転職員
6.23	評議員会	
〃	理事会	
7. 8	東地区地域づくり協議会「市民フォーラム」参加	開発センター
7.11	在宅サービス意見交換会	デイ
7.21	地域密着型デイサービス運営推進会議	
〃	入所検討委員会	
7.25	介護支援専門員研修	
7.28	管理職研修	10/3まで全3回
8. 1	八海中学校職場体験（デイサービス）	2名
8. 8	職員健康診断・ストレスチェック	
8.24	北里大学保健看護科2年生看護展開基礎実習	9/6まで4名
9.12	北里大学保健看護科1年生日常生活支援実習	9/22まで4名
9.15	入所検討委員会	
9.18	敬老会	百歳1・米寿2
10. 6	労働基準監督署臨検	
10.17	火災通報避難訓練（夜間想定）	
〃	消防立入検査	
10.25	地域密着型認知デイサービス運営指導	
11. 2	インフルエンザ予防接種開始	11/27まで

年月日	処 理 事 項	備 考
11.10	職員全体研修「介護現場のリスクマネジメント」	
11.17	入所検討委員会	
11.27~28	魚沼サンテックスクール講師派遣	初任者研修
11.30	定例理事会	
12. 1	職員全体研修「虐待防止」	
12. 4	新型コロナワクチン接種 7 回目開始	12/25 まで
6. 1.12	職員全体研修「薬の理解」	
1.19	入所検討委員会	
1.16	介護保険施設等集団指導	
1.26	職員全体研修「メンタルヘルス」	
2. 7	職員全体研修「高齢者に対応する接遇」	
2.20	地震想定初動訓練	
2. 21	職員全体研修「これからの福祉職について」	
3. 5	口腔衛生管理研修会	
3.12	在宅サービス事業所意見交換会	
3.13	介護労働安定センター賛助会員座談会	
3.19	認知症対応型デイサービス運営推進会議	
3.21	理事会	書面議決
3.23	認知症行方不明者捜索訓練参加	東地区
3.28	評議員会	書面議決

## 8. その他行われた諸会議（定期開催）

### (1) 委員会

防災委員会・身体的拘束適正化検討委員会・虐待防止検討委員会・給食委員会・感染対策委員会・事故防止検討委員会・安全衛生委員会・くもん学習委員会・施設管理委員会

### (2) 外部委嘱委員を伴う会議

苦情解決検討委員会・入所検討委員会・地域密着型デイサービス運営推進会議

### (3) その他の内部会議

経営会議（主任以上）・主任リーダー業務連絡会議・フロア会議・ユニット会議

## 9. 苦情の概要

### (1) 職員に関する苦情 1 件

特養看護職員に対する家族からの苦情。病院付き添い受診時の対応について。